

地域デザイン科学研究科地域政策科学専攻ディプロマ・ポリシー

地域政策科学専攻（学位：修士（地域政策））では、法、行政、社会、文化等の複合的な視点から、地域社会が提起する諸課題に対応できる理論と応用の研究能力を培い、地域社会の各分野で中核的役割を担う高度職業専門人及び市民の養成を目指す。そのために、研究分野における専門性ととも、俯瞰性・学際性も重視し、次の5つの知識・能力等の修得を求める。

1. 法、行政、社会、文化等の複合的な視点に立ち、グローバル社会と地域社会の結びつきを意識しつつ、地域の諸課題に対して政策科学的に考究する専門知識を修得している。
【グローバルな視野とローカルな視点】 【専門的知識・技能】
2. 時代の進展や現代の地域特性を考慮した研究課題を、自ら設定する能力を備えている。
【論理的思考力・分析力・表現力】
3. 地域の多様な課題に対して、必要な専門知識を学際的にコーディネートすることのできる、理論的、応用的かつ実践的な研究能力を備えている。【論理的思考力・分析力・表現力】 【学際性、俯瞰性、課題発見力】 【応用力、実践力、還元力】
4. 時代の進展や現代の地域特性を考慮して自ら設定した研究課題の成果を、対話を通して社会と共有する能力を備えている。【プレゼンテーション力、コミュニケーション力】
5. 法・行政・社会・文化等の専門知識や専門技術をふまえ、多様な分野の団体・人々の力を活かしながら、新たなシステム構築の発想を得て課題を解決する能力を備えている。
【コーディネート力、マネジメント力、課題解決力】